

10月14日 高麗（高麗区民会館にて）

〈主なやり取りと対応状況〉

* 対応状況は⇒です。

【町役場の建替えについて】

○ 新庁舎はどこに建てるのか。

⇒ 現在の駐車場の部分に建てます。工事中は交通整理や安全対策を行います。

○ 大磯は、景観が素晴らしい。空気感が違う。庁舎も「大磯らしい」景観が大切。現状に詰め込むのではなく、いくつかの機能を空き家に移し、建物はコンパクトにする分散型を検討してほしい。

⇒ 本庁舎の機能や建物を分散すると職員も利用者（町民）も不便になると思います。しかし、周辺の景観への配慮も大切なので事業者へお願いしていきます。

【その他】

○ 町の借金は誰が誰に借金をするのか。

⇒ 町が財務省や銀行など金融機関に借金をすることになります。町の借金は町民からの税金などで返済しますので、将来的には、町民の皆様の負担になります。

○ セブンイレブンから区民会館までの町道について町道の土のところから草が茂っている。地元の皆さんが除草剤を撒いてくれているが、追いつかないので要望として伝えたい。

⇒ 私が現地を確認しました。道は町道ですが、草は民地から生えています。担当課で今後の対応を検討中です。

○ 庁舎建替えのため十数億円の町民サービスに回す財源が減となるが、町長は収入増の考えはお持ちか。

⇒ 税外収入を増やしたいと思っています。主なものが「ふるさと納税」や港駐車場使用料収入です。これらの収入が増えるよう対策を進めます。

○ 人口減少とはいえ、地方に比べるとまだ穏やかである。子育て世代の方に入ってきていただきたい。

⇒ 転入者アンケートをみると、自然環境や住環境で選ばれている一方、マイナス評価として不便さが挙げられていて、これが今後のまちづくりのポイントと考えていますので、デマンドバス・タクシーなどの交通対策を進めます。

- 辻堂のような便利さではなくて、自然豊かな大磯の良さをなるべくアピールして住みたい人を増やし、他自治体の差別化を図ってほしい。
 - ⇒ 藤沢のようにマンションを建てれば人口増となります。しかし、大磯町では戸建て住宅に新住民の受皿を考えています。空き家対策を進めたいと思います。また、不便さが評価を下げているので、バス減便に対してデマンドバスやタクシーの補助といった対策を打っていきます。

- 「茅葺屋根」の住宅が無くなった。歴史的なものや、豊かな自然を町が調整するような部署はないのか。自然や歴史など「大磯らしさ」を守れないか。
 - ⇒ 個人の土地や財産の処分については町が止めることはなかなかできませんが、法令の範囲でできることはもちろん取り組んでいきます。

- 土地や建築物を守る方法として、減税などができるのではないかと。町が加担しているのではないかと。
 - ⇒ 加担するということはありません。固定資産税で対応できることもあります。そうした減税策をとると町民サービスの財源が減りますので、良く検討します。

- 兵庫県川西市の「こども人権オンブズパーソン」というのがある。こどもが発言できないところは、大人が解決までもっていく方法で、全国で 30 例ほどある。広域で平塚市・二宮町とともにいじめ問題の解決策として確保してほしい。議員 8 名には資料を提供しているので承知おきいただきたい。
 - ⇒ いじめ問題については、抜本的な対策を進めるため、他市町村の取組も参考にした条例制定の準備を進めています。

- 2 年前に転入してきたが、人口減少、少子化で 20 年後も町が成り立っているのか不安であり、町を持ち上げたい。移住してくるのは若者であり、少子化対策である「無償化」は引っ越してくる理由にはならない。少子化対策の追加策が欲しい
 - ⇒ まずは、中学校給食の実施に向けて準備を進めたいと思っています。また、幼小中の教育を充実するため、町教育委員会と相談しています。

- 少子化対策、若者対策について何か欲しいことは、幼稚園の送迎、デイサービス、子ども手当など。在宅勤務、サテライトオフィスを利用できることなどを、SNS 発信してほしい。
 - 平塚と比べたが、隣接している都市でも実施している事業で、「大磯が一番良い」、「抜きん出ている」とはならない。この地域の中で、比較してほしい。
 - ⇒ 町のホームページは、わかりやすいものに改善したいと思っています。
 - また、他の自治体にはない大磯ならではの町民サービスを考えています。

○ 駅前広場や幼稚園の整備について最近は何が問題はないのか。大磯幼稚園はどうなっていくのか。駅前広場や駅前交番の建替えは、どうすれば計画全体が固まったものが見えるか。

⇒ これから予算を立てていきますが、全体計画はホームページや役場でも見ていただけます。

来年春には観光案内所が完成します。駅前交番は神奈川県が建替えます。大磯幼稚園は民間が新しい建物を建てることになります。建築費用は、どの内容についても物価高等の影響により上がってきってしまうと思います。

○ 移住者の観点をリサーチする必要がある。以前は観光で人を呼び込む方針だった。町のイメージを崩さないでほしい。

⇒ 転入者アンケートを実施していますが、大体の傾向としては、大磯の静かな佇まいに引かれた方が多いです。それを大切にしまちづくりを進めます。

○ 東京や横浜に通勤する人を増やす。安心して子どもを預けられる施設を駅の中に作るのか、駅前に作るのか。

⇒ 今は駅前に建てることも駅舎を建替えてもらう予定もありません。今年春から北本町（駅から徒歩3分）に0～2歳児の保育園を作りましたが好評です。

○ 新しい行事が活発なのは良いことだが、昔からあるイベントに人が集まらなくなっているのでは。山神輿を町として大切にしたい。

新年の賀詞交換会の時に予算を増やすといわれたが増えてなかった。

昔は植木市もあったが、今は大磯市があり、人が集まらない。町としても盛り上げる方法を考えてほしい。

⇒ 山神輿に対する今年度の町からの支援金額については、①奨励金が9万円、②太鼓の修繕費等が170万円、③区民会館（活動場所）の修繕費が62万円、合計241万円余りとなっており、お祭りに対する支援としてはかなり大きな金額を充てています。山神輿を盛り上げる方法、発信方法については区や保存会からご要望を頂ければ町もお手伝いさせていただきます。

○ 30年前に大磯町教育推進会議というものが組織され、ご長老から歴史などを聞き取るなど何となく活気づいていた。SNSも大切だが縦社会での考え方が必要であるかと思う。過去の話語り、未来を考える組織が、年1、2回あるとよいと思う。

⇒ 教育については、学校ごとに学校運営協議会（コミュニティースクール）が作られ、各地域のご長老的な方からのご意見もお伺いするようになっていきます。さらに縦社会での考え方も大切にするようにしていきます。

- 大磯港に若い人の賑わいがあるって大磯港駐車場も活気づいている。
 - ⇒ 昨年から今年にかけて駐車場収入も増えてきていて、大磯港の賑わいが町民サービスの財源を生むようになって来ています。これからも盛り上げてまいります。

以上